

●中央図書館 ☎ 22-3059 (甘木 198-1)
 FAX 22-8141
 ●あさくら図書館 ☎・FAX 52-3434 (宮野 1997)
 ●はき図書館 ☎・FAX 63-3178 (杷木池田 483-1)

図書館だより Library

文化・学習の催し culture

図書館へ行こう

◆ 8月の図書館カレンダー ◆

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※開館時間…10時～18時

は、あさくら館休館
 は、中央・はき館休館

● 8月の上映会 (無料)

場所 中央図書館2階・視聴覚室
 時間 13時30分～

□金曜日の映画館 (大人向け)

2日	さよなら、アルマ / 邦画 93分
16日	禁じられた遊び / 洋画・字幕 82分

□あさくらシネマ ファミリー上映会

場所 朝倉地域生涯学習センター
 AVホール
 時間 13時30分～

18日	おしりたんてい / アニメ 60分
-----	-------------------



● 今月のおはなし会

絵本の読み聞かせのほか、わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。ぜひ参加ください。

□中央図書館

■おはなし会

日時 毎週土・日曜日 14時～
 対象 幼児～小学生

※8月18日(日)は、サンダーランドさんの英語のおはなし会です。

■ぴよぴよおはなし会

日時 8月14日・21日(水)
 11時30分～

対象 0～2歳児と保護者



夏休み子ども工作教室

オリジナルかべかけライトを作ろう! (中央図書館)

■日時…8月20日(火) 14時～(1時間程度)

■場所…ピーポート甘木 第7学習室

■講師…手嶋京子さん(フラワー装飾技能士)

■対象…市内の小学5・6年生

■定員…15人(先着順)

■参加費…500円

■申込方法…中央図書館へ直接または電話で申し込む。

■申込期間…8月1日(木) 10時～



こわ～いおはなし会 (あさくら図書館)

■日時…8月23日(金) 16時～(30分程度)

■場所…あさくら図書館 おはなしコーナー

■対象…小学生くらいまで

※スタンプ2倍



成人講座

「野菜づくりのコツと裏ワザ」 (はき図書館)

■日時…9月5日(木) 14時～

■場所…はき図書館内

■講師…佐藤 圭さん(農山漁村文化協会)

■定員…15人

■参加費…無料

■申込方法…はき図書館に直接または電話で申し込む。

■申込期間…8月1日(木) 10時～



□あさくら図書館

■あかちゃんおはなし会

日時 8月3日(土) 11時～
 対象 0歳～1歳の乳児と保護者

■みんなのおはなし会

日時 8月10日・17日・24日・31日(土) 11時～
 対象 幼児～小学生

□はき図書館

■わくわくおはなし会

日時 8月27日(火) 11時～
 対象 乳幼児と保護者

毎月23日は朝倉市子ども読書の日



各ホールの催しもの一覧はPiARa(ピアラ)に掲載しています(ピアラは各ホール、コミュニティセンター、市役所、支所に置いています)。

家庭教育講座

わが子の「生きる力」を育てる方法 ～非認知能力って?～

子どもに、必要な力を身につけさせるための子育てのヒントを保育のプロに学びます。

■日時…9月7日(土) 10時～12時

■場所…ピーポート甘木 第5学習室

■講師…辻 広明さん(大池けいあい保育園長)

■対象…子育て中または興味のある人

■定員…30人

■参加費…無料

■申込方法…電話または電子メール(bunka-syougaku@city.asakura.lg.jp)で申し込む。

■託児…無料・要予約・先着10人(1歳～未就学児)



▲申込はこちら

【講師プロフィール】

久留米市児童センターで14年間勤務後、久留米市、行橋市で保育園の園長を務め、大池けいあい保育園長となる。勤務の傍ら19年間、非常勤講師として、九州大谷短期大学で後進の指導に努めた。保育心理士、言語保育セラピスト、児童厚生1級指導員、レクリエーションインストラクター・コーディネーターほか。



問 市文化・生涯学習課 (☎ 22-2348)

第4回みんなの人権セミナー「サマーナイトシアター」 家族や子育てのあり方について考えてみましょう!

映画上映会 「うさぎドロップ」



©2011「うさぎドロップ」製作委員会

～ストーリー(114分)～

27歳、彼女なし。ごくフツウのサラリーマンであるダイキチは、祖父の葬儀のために久しぶりに訪れた実家で、一人の不思議な6歳の少女と出会う。

孤独で悲しげなその少女りんは、実は祖父の隠し子だった。引き取り手がなく、りんを施設に入れようと言う親族たちの意見に反発したダイキチは、勢いで自分が引き取って育てると宣言してしまう。

こうしてその日から、不器用な男としっかり者の少女とのちょっとちぐはぐな共同生活が始まる。ひょんなことから一緒に暮らすことになった二人だったが、周りのみんなに支えられながら、次第に本当の家族のような愛情と絆で結ばれてゆく……。

日時 8月23日(金) 19時～
 /開場 18時30分～

場所 らくゆう館 文化ホール

【入場料】無料 【定員】100人

【託児】無料(要予約・1歳以上の未就学児)

問 市人権・同和対策課(☎ 28-7861)または女性センターあすみん(☎ 62-3375)

このページは、市民の情報コーナーです。みなさんの作品や、あかちゃんの写真を募集しています。
また、広報あさくらへの意見やまちの話題など、いろいろな情報をお待ちしています。

【人事秘書課広報統計係】

★ 満一歳おめでとう ★



上野 まいらちゃん
8月27日生(女/平塚)
父=修司・母=絵美



吉里 史敦ちゃん
8月22日生(男/頓田)
父=孔憲・母=優美



伊藤 天馬ちゃん
8月21日生(男/杷木林田)
父=栄三・母=ゆかり



東川 暖ちゃん
8月29日生(男/来春)
父=徹・母=麻美



白水 我空ちゃん
8月30日生(男/屋永)
父=幸博・母=歩



福嶋 海晴ちゃん
8月28日生(男/林田)
父=良太・母=彩乃



梅野 莉子ちゃん
8月27日生(女/杷木吉賀)
父=義孝・母=梨奈



光岡 明夏ちゃん
8月5日生(女/甘木)
父=亨・母=瞳



松山 大悟ちゃん
8月22日生(男/頓田)
父=哲也・母=有子



9月1日号「満一歳おめでとう」コーナーの申し込みは、8月7日(水)までに市人事秘書課広報統計係(市役所本庁3階)または、朝倉・杷木支所市民窓口係へ。デジタルカメラ・スマートフォンで撮った写真はプリント不要です。電子メールで写真の受け取りができます(USBメモリ不可)。



三連水車 ライトアップ

問 朝倉市商工会 (☎ 52-0021)

平成 29・30 年と立て続けに豪雨被害を受けましたが、見事に復活を遂げてきた三連水車。一日も早い復興に願いを込め、そして「水と緑の住みよい朝倉」を発信するイベントです。

■日時…8月10日(土)～12日(月・休) 19時30分～21時30分

■場所…三連水車(菱野)



けんこう! Cooking

県栄養士会 福祉栄養士協議会 管理栄養士

ナスの味噌だれかけ

■材料(4人分)…ナス 200g 【味噌だれ】赤だし味噌8g、合わせ味噌12g、砂糖8g、料理酒4g、だし汁40g ※赤だし味噌がない場合は合わせ味噌20gでも可

【飾りつけ】ケシの実少々

■作り方…①味噌だれの材料を鍋に入れ火にかける。とろみがついたら火からおろす。②ナスは乱切りにし、揚げ油170～180度で揚げる。③ナスを皿にもり①の味噌だれを

かける。ケシの実を飾る。
■一口メモ…シトウなど一緒に揚げて添えると色鮮やかです。暑い夏にも、美味しく食べれる料理です。



1人分約78kcal

朝倉産原木の流通拡大へ期待 九州木材市場立地協定締結式

問 市商工観光課 (☎ 28-7862)

6月14日、ローム工場跡地(小限区)への九州木材市場(大分県日田市)の進出に伴う立地協定締結式が市役所で行われました。九州木材市場は、原木の販売を手がけており、朝倉市での販売拠点開設による朝倉産原木の流通拡大が期待されます。林市長は「市内の森林所有者や林業従事者の大きな励みに」と期待を寄せ、進出を決めた九州木材市場の田中昇吾社長は「朝倉の林業や木材産業が福岡で一番と言われるように頑張りたい」と抱負を語りました。



▲写真左から林市長、ロームの山崎雅彦取締役、九州木材市場の田中昇吾社長

ご存じですか? 朝倉産のシンテッポウユリ

問 朝倉地域担い手・育成協議会 花き部会 (☎ 22-2551)

花束や生け花などにお勧め!

朝倉市での生産面積が福岡県で3位となるなど、市内で作付けを推進している切花として「シンテッポウユリ」があります。

シンテッポウユリは、夏の暑い時期にもしっかりと花を咲かせ、花束や生け花、お供えものにお勧めです。

初夏から夏にかけて旬を迎え、お盆前の7月下旬から8月中旬まで花屋に並びます。



広報文芸

【広報文芸応募方法】ハガキまたは封書に三句以内(一人二通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し8月7日(水)必着 までに直接選考者に応募。

俳句 (井上醇女選)

花菖蒲手入れ怠り寂しけり
下瀬 和田 隆嗣

里山に夏鶯の長居かな
佐田 大西クニ子

川柳 (平井良子選)

今月の題「旧」
旧姓で名前呼ばれて親思う
甘木 石井ミサヲ

旧姓に戻ればうわさ離婚かと
美奈宜の杜 沼田いづみ

短歌 (古賀雅選)

物干しに糸一本を張り渡し揺れつつ蜘蛛は巣を広げたり
杷木池田 吉松 直枝

借景に耳納連山水車群
三連二連とつづく
中原 安陪 良一

鮎解禁背中合せの長丁場
堤 柏木 勝利

サロンにてぬり絵生き生き濃茶陽花
久喜宮 田中 君子

薫風や電車待つ間の木のベンチ
馬田 松山 尊秀

昭和には新旧時代の歴史あり
入地 榊 和夫

令和元年万葉の里急浮上
頼田 田代 昭子

手放せぬ未だ使え相田電化
千手 山崎 弘子

掛け声のオイサアオイサアに
活力を乗り物継いで群集の内
美奈宜の杜 藤瀬とき子

広報文芸へ応募するときの注意
応募は、俳句・川柳・短歌のいずれかひとつでお願いします。

川柳次の題は「復」 【広報文芸応募先】俳句は井上醇女さん(〒838-0064朝倉市頓田14-2) 川柳は平井良子さん(〒838-0068朝倉市甘木1074-2)、短歌は古賀雅さん(〒839-1301うきは市吉井町桜井359)へ。 ※応募作品は、未発表・ご自身の作品に限ります。応募の際は、今一度ご確認ください。

■ 伝統を受け継ぐ山笠

久喜宮祇園山笠・甘木祇園山笠

7月14日・15日、杷木久喜宮・甘木で祇園山笠が行われました。
 14日行われた久喜宮祇園山笠は、1695年に始まったとされ、獅子、神輿、山の順で家々を回る珍しいかたの山笠です。
 15日には、約300年の伝統がある甘木祇園山笠が行われ、力強い掛け声を響かせながら、今年も甘木のまちに活気を与えていました。



▲甘木祇園山笠は西流れ・東流れに分かれて、町内を山が走ります(写真：東流れのスタート)。



- ①・②神輿・山を引きながら町内を練り歩きました(久喜宮祇園山笠)
- ③林市長も山に乗り西流れスタート(甘木祇園山笠)
- ④「よー！」と手を入れる(手をたたく)引き手たち(甘木祇園山笠)
- ⑤雨の中、子どもたちが樽神輿を担いで回りました(7月13日、甘木祇園山笠子ども神輿)
- ⑥勇壮な飾り山(甘木祇園山笠)

■ 郷土の物産に触れよう

秋月保育所・黄金川保育所 食育活動

6月11日、秋月保育所で秋月黒田三職の会(廣久葛本舗・遠藤金川堂・筑前秋月和紙処)による食育活動が行われました。
 園児たちは、朝倉市の伝統的物産である「葛」「川茸」「和紙」について、紙芝居などで説明を受け、実際に川茸や葛を使った洋菓子などを試食しました。
 秋月黒田三職の会の井上さんは「子どもたちから郷土の物産に触れて、そのすごさを感じてもらいたい」と話しました。



▲葛を使ったロールケーキ・冷やし葛湯を試食する秋月保育所の園児たち。秋月黒田三職の会は、8年前から秋月、黄金川保育所の園児を対象に食育活動を行っています。

■ 味わおう！朝倉の新鮮野菜

地産地消料理講習会〜夏編〜

6月26日、ピーポット甘木で地産地消料理講習会が行われました。
 講習会では、地産地消と健康的な食事をテーマに、食生活改善推進員と一緒に21人の参加者たちが朝倉産の野菜を使ったスープカレー・ピクルス・フルーツ寒天を調理しました。
 参加者たちは、朝倉の新鮮な野菜を味わい、地産地消の大切さや減塩などの健康的な食事について学びました。



▲食生活改善推進員は「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、健康料理教室などを開催し、食育や地産地消の普及・啓発活動を行っています。

■ 父の日においしい牛乳を

県酪農業協同組合牛乳消費拡大PR

6月6日、ふくおか県酪農業協同組合朝倉女性部の皆さんが、父の日(6月16日)を前に、市役所で牛乳のPRを行いました。
 同組合女性部の皆さんは「牛乳は栄養成分がバランス良く含まれ、体に良い飲み物です。おいしい牛乳をお届けしますのでたくさん飲んでください」とアピール。林市長もおいしく牛乳をいただきました。



▲牛乳にはカルシウムなどの栄養成分が「ギュ〜」と詰まっています。「モ〜」とたくさん飲むと体に良いそうです。

E・K・T

E G A W A

K O I S H I W A R A G A W A

T E R A U C H I

ダム湖底うおーく

9月22日(日)

参加者
募集

小石原川ダム完成前に、最初で最後の貴重な3つの体験ができるイベントです！

手形で文字やアートを描く

ダムの湖底に描くため、二度と見られないかも？！

働く車乗車体験

ダム建設で使用する重機（ダンプ・ブルドーザーなど）に乗ってみよう！

2億年前の石を発見！

ダム建設で発掘された2億年前の石を記念にもって帰ろう！

- 時間…① 9時30分～（ダムカレー付）② 11時～③ 12時30分～④ 14時～（90分1セット）
- 場所…あまぎ水の文化村発着～小石原川ダム（発着地からダムまでバス送迎）
- 定員…各回60人
- 参加費…① 2000円/人 ②③④ 1000円/人
- 対象…小学生以上ならどなたでも可（ただし小学生は保護者同伴）
- 申込方法…あさくら観光協会へ電子メール（info@asakurakankou.com）またはFAX（24-9015）で申し込む（氏名・連絡先・住所・希望時間帯、中学生以上または小学生のいずれかを明記）。
- 申込期間…8月20日（火）まで。
- ※申込多数の場合は抽選。当選者には9月6日（金）までに詳細を発送。
- 問 あさくら観光協会（☎ 24-6758）



有料広告掲載欄

※広告を掲載したい場合は（株）ホープ（☎ 092-716-1404）へ。

有料広告掲載欄